

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

国立公園は、日本を代表する自然の風景地を保護し、その利用促進を図る目的で環境大臣が指定する自然公園の一つである。今年新たに「やんばるの森公園」が加わることになった。やんばるの森には国内最大級の亜熱帯照葉樹林が分布するだけでなく希少な動植物が多数生息し、多様な生態系によって構成された景観が最大の特徴である。指定区域は、国頭、大宜見および東村にまたがり、陸域が13,632ヘクタール、海域が3,670ヘクタールで、マングローブ林やカルスト地形など多様な景観が広がり、ヤンバルクイナ、ヤンバルテナゴコガネ、オキナワトゲネズミ、ノグチゲラおよびクロイワトカゲモドキなどの天然記念物や固有種が多く生息している。(1) やんばるの森公園は、森林だけでなく、農地や集落などの多様な環境から構成される区域も存在する一方で、手つかずの自然を堪能できるだけでなく、人々の歴史や文化に触れることもできるという特殊性を兼ね備えているとも言える。国立公園は、世界的にも類のない日本独自の美しい自然を未来に引き継ぐ役割を担っていることから、自然環境を保護・保全する姿勢を決して忘れないことが重要である。

- 問1 下線部(1)に関して、やんばるの森公園は複雑な要素から構成されている特徴を持つが、今後どのようにして自然との共存を図っていくべきかについて、総合的な観点からあなたの考えを500字以上、600字以内で述べなさい。
- 問2 設問文を参考に、国立公園の指定が及ぼす地域産業への影響について、あなたの考えを300字以上、400字以内で述べなさい。

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

出題の意図

亜熱帯農林環境課学科は、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人、生物生産と自然環境との調和を目指す人、生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人材をアドミッションポリシーとして掲げている。そこで、国立公園を題材として取り上げることにより、農林業を含む多様な環境を内包した自然環境の保全・保護に関する問題解決能力を問うことで、発想力、論理的な考察および自分の意見を論文としてまとめる能力を兼ね備えているかを総合的に評価する。